

にほんご(こくご)【中1用】 小1レベル ステップ1

年 <sup>ねん</sup> 組 <sup>くみ</sup> 番 <sup>ばん</sup> 名前 <sup>なまえ</sup>

【ひらがな】

1	ひとつしか ない じは なんでしょう。 ま ほ は よ		こたえ
---	--------------------------------	--	-----

2	うえから よんでも、よこから よんでも いいように、 に あう もじをひとつ えらびましょう。 び で び ひ		こたえ
---	--	--	-----

3	もじを ならべかえて ことばを つくりましょう。 う・ぎ・さ さぎう さうぎ ぎさう うさぎ		こたえ
---	--	--	-----

4	つぎの みつつの ぶんに あう ものを ひとつ えら びましょう。 それは どうぶつです。 それは うまの なかまです。 それは しると くるの しまもようです。 しましま しまうま しろくま しろくる		こたえ
---	---	--	-----

5	( )の なかに ことばを 入れて しりとり あ そびを しましょう。 りか ( ) しごと とり かかし からだ かめら やさい		こたえ
---	--	--	-----

にほんご(こくご)小1レベル ステップ1

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【かたかな】

1	みぎの かたかなは なんと よみますか。 え む こ に		こたえ	
---	---------------------------------	---	-----	--

2	みぎの じを かたかなに した ものは どれでしょう。 ソ リ タ ク		こたえ	
---	---	---	-----	--

3	つぎの ぶんの なかから、かたかなで かく ことば を えらびましょう。 ぼくは りんごも めろんも だいすきだ。   ぼく りんご だいすき めろん		こたえ	
---	---	--	-----	--

4	つぎの ぶんの ( )に あう ことばを えらびま しょう。 やきゅうは ( )の ひとつです。 スポウツ スポオツ スポーシ スポーツ		こたえ	
---	---	---	-----	--

5	えに あう ことばを えらびましょう。 パイナンプル パイナシプル パイナツプル パイナツプル		こたえ	
---	---	---	-----	--

にほんご(こくご)小1レベル ステップ1

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【ことば】

1	つぎの ことばと なかまに なる ものを ひとつ えらびましょう。  ジュース・ぎゅうにゅう・こうちゃ  にわとり      コーヒー      さくらんぼ      いちご	こ た え	
---	--	-------------	--

2	はんたいの いみの ことばを えらびましょう。  ほそい      (      )  ひろい      ふとい      まるい      ながい	こ た え	
---	--	-------------	--

3	つぎの <sup>なか</sup> 中から 「べんきょうに つかう もの」でない ことばを ひとつ えらびましょう。  けしゴム      じょうぎ      ブラシ <sup>ほん</sup> 本	こ た え	
---	--	-------------	--

4	つぎの <sup>ぶん</sup> 文の ( )に あう ことばを ひとつ えら びましょう。  いもうとが ひとりで (      ) ないて いる。  ざわざわ      にこにこ      きらきら      しくしく	こ た え	
---	---	-------------	--

5	つぎのような ときに いう あいさつの ことばを えらびましょう。  しょくじを する まえ  おやすみなさい      おかえりなさい ごちそうさま      いただきます	こ た え	
---	---	-------------	--

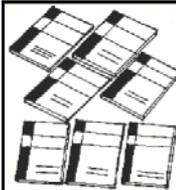
\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【かん字<sup>じ</sup>】

1	<p>_____の かん字は なんと よみますか。</p> <p><u>青い</u> そら</p> <p>あか            しろ            あお            とお</p>	こ た え	
---	---	-------------	--

2	<p>「日」には 「ひ」の ほかにも よみかたが あります。 つぎの ときには なんと よみますか。 ただしい ものを ひとつ えらびましょう。</p> <p>日ようび</p> <p>げつ            にち            もく            きん</p>	こ た え	
---	--	-------------	--

3	<p><sup>みぎ</sup>右の えから できた かん字<sup>じ</sup>は どれですか。</p> <p>土            入            王            子</p>	こ た え	
---	--	-------------	---

4	<p>えに あうように ( )に ことばをい れましょう。</p> <p>ノートが ( )</p> <p>七まい            七さつ            九さつ            九まい</p>	こ た え	
---	---	-------------	---

5	<p>_____を かん字<sup>じ</sup>で かくと どう なりますか。ただし い ものを えらびましょう。</p> <p>きゅうでんに すむ <u>おう</u>さま。</p> <p>大            中            青            王</p>	こ た え	
---	--	-------------	--

日本語（国語）小2レベル ステップ1

年 <sup>くみ</sup> 組 <sup>ばん</sup> 番 <sup>なまえ</sup> 名前 \_\_\_\_\_

【かたかな】

1	右の <sup>え</sup> 絵は 何ですか。 ( ) に 入る ものを えらびましょう。  ( ) コン  パソ          パン          パン          バソ		こたえ	
---	---	---	-----	--

2	右の <sup>え</sup> 絵は 何ですか。  ジョース          シューヌ ジャーマ          ジュース		こたえ	
---	--	---	-----	--

3	かたかなで <sup>か</sup> 書く ことばを えらびましょう。 あんでるせんの どうわは、なんと <sup>よ</sup> 読んでも おもしろい。  あんでるせん          どうわ おもしろい          なんと	こたえ	
---	---	-----	--

4	かたかなで <sup>か</sup> 書く ことばを えらびましょう。 あめが ふりだしそうなので、れいんこおとを もって でかけなさい。  れいんこおと          でかけなさい ふりだしそう          あめ	こたえ	
---	---	-----	--

5	かたかなで <sup>か</sup> 書く ことばを えらびましょう。 まどが かぜで がたがたと 音を たてる。  かぜ          がたがた たてる          まど	こたえ	
---	---	-----	--

日本語（国語）小2レベル ステップ2-1

【かなづかい】

1	<p>かなづかいの まちがっている 文を みつけましょう。</p> <p>いそいで かいだんを おりる。          きょうは なわとびを する。          おじいさんを えきえ おくる。          ぼくは 弟を おこす。</p>	こたえ	
---	--	-----	--

2	<p>かなづかいの まちがっている 文を みつけましょう。</p> <p>わたしは にはで あそぶ。          おじいさんが 木の えだを おる。          おもちゃを はこへ かたづける。          ひよこの 親は にわとりです。</p>	こたえ	
---	--	-----	--

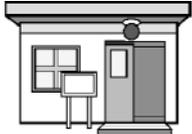
3	<p>かなづかいの まちがっている 文を みつけましょう。</p> <p>しゃしんを うつす。          ぼくの みょうじは 村瀬です。          水たまりに ちゅういする。          わたしは しょうがくせいです。</p>	こたえ	
---	--	-----	--

4	<p>かなづかいの まちがっている 文を みつけましょう。</p> <p>バスに じょうしゃする。          びょういんを きゅうきゅう車に のせる。          れっしゃが とうちやくする。          びょうきで にゅういんする。</p>	こたえ	
---	---	-----	--

5	<p>かなづかいの まちがっている 文を みつけましょう。</p> <p>まっすぐに えだが のびて いる。          けんかの あとで あやまった。          手紙に きつてを はる。          道に うつすらと 雪が つもる。</p>	こたえ	
---	---	-----	--

日本語（国語）小2レベル ステップ2-1

【かん字】

1	<p>_____の かん字の 正しい よみかたを ひとつ えら びましょう。</p> <p>交番に おまわりさんが います。</p> <p>こうはん      かんばん      こうばん      とうばん</p>	こたえ	
2	<p>つぎの 文の 中から、「食」を 「しょく」と 読ん で いる ものを ひとつ えらびましょう。</p> <p>三日分の 食べものを 買う。 夕食の メニューは なんですか。 きのう ハンバーグを 食べました。 食わずぎらいは よく ない。</p>	こたえ	
3	<p>_____の ことばは かん字で どのように 書きま すか。ひとつ えらびましょう。</p> <p>一日の できごとを <u>に</u>つきに 書く。</p> <p>日記                  日計                  日読                  日語</p>	こたえ	
4	<p>_____の ことばは かん字で どのように 書きま すか。ひとつ えらびましょう。</p> <p>昼<u>ま</u>から ねてばかりです。</p> <p>間                  聞                  門                  内</p>	こたえ	
5	<p>_____の ひらがなを かん字に すると どう なりますか。ひとつ えらびましょう。</p> <p><u>ご</u>後から プールへ 行きます。</p> <p>午                  干                  先                  牛</p>	こたえ	

日本語（国語）小2レベル ステップ2-1

【ことば】

1	<p>_____の ことばの いみは どれが 正しいですか。</p> <p><u>きけん</u>な ところでは あそばない。</p> <p>さわがしい こと 音が しない こと たくさんの 人が いる こと あぶない こと</p>	こたえ	
2	<p>_____と はんたいの いみの ことばを えらびましょう。</p> <p>小学生は <u>子ども</u>です。</p> <p>おとな                  女                  男                  人</p>	こたえ	
3	<p>_____を ていねいな 言いかたに なおした ものは どれですか。</p> <p>おととい、ぼくは <u>朝</u>の 六時に <u>おきた</u>。</p> <p>おきる                  おきます                  おきたよ                  おきました</p>	こたえ	
4	<p>つぎの 文を ( )のように <u>か</u>書きなおすと どうなりますか。</p> <p><u>あね</u>姉は 大学生だ。(「<u>まえ</u>二年前は」を つけたすと)</p> <p>姉は 二年前は 大学生だろう。 姉は 二年前は 大学生でしょう。 姉は 二年前は 大学生だった。</p>	こたえ	
5	<p>ア～エの どこに <u>てん</u>点(、)を うつと よいですか。</p> <p><u>いえ</u>雨が(ア)ふって(イ)きたので(ウ)いそいで(エ)家に かけりました。</p> <p>ア                          エ                          イ                          ウ</p>	こたえ	

\_\_\_\_年\_\_\_\_組\_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【漢字】

1	____線のかん字の正しい読み方を、えらびましょう。 本を読んだ感想を、作文に書く。 かんあい                      かんし かんそう                      かんおもい	こ た え	
---	---	-------------	--

2	____のひらがなを、かん字になおすとどれになりますか。 かいがんを、さんぼする。 海岩              海炭              海干              海岸	こ た え	
---	--	-------------	--

3	右のかん字の、やじるしが さして いる ところは、何画めに 書きますか。 六画め                      八画め 九画め                      七画め	こ た	
---	---	--------	--

4	つぎの____のカタカナを、かん字と送り <small>おく</small> がなになおすと どうなりますか。下からひとつえらびましょう。 にもつが <u>オモタク</u> なって きた。 重たく                      重く 重もたく                      重もく	こ た え	
---	--	-------------	--

5	つぎのかん字の中から、「話」のように、「ごんべん」 をもつものを、ひとつえらびましょう。 写                      詩 神                      間	こ た え	
---	---	-------------	--

日本語（国語）小3レベル ステップ2-2

年 組 番 名前

【語く】

1	<p>つぎのことばを、ひとつに組み合わせるとどんなことばになりますか。正しいものをえらびましょう。</p> <p>親しい友</p> <p>友人                  親子                  親友                  <small>りょうしん</small> 両親</p>	こたえ	
2	<p>つぎの文中の _____ の意味に合うことばはどれですか。正しいものをえらびましょう。</p> <p>スカーフをたたんで、<u>二つ重ね</u>にする。</p> <p><small>たいじゆう</small> 体重                  <small>じゆうりよく</small> 重力                  <small>じゆう</small> 二重                  <small>じゆうだい</small> 重大</p>	こたえ	
3	<p>つぎの（ ）にかん字を一字つけくわえて、三字のじゆく語を作ります。ふさわしいものをえらびましょう。</p> <p>十年ぶりに、<u>同級</u>（ ）に会った。</p> <p>生                  学                  人                  <small>きやく</small> 客</p>	こたえ	
4	<p>つぎの（ ）にじゆく語をつけくわえて、四字のじゆく語を作ります。ふさわしいものをえらびましょう。</p> <p>野外（ ）に、ねっ心に<u>とく</u>取り組む。</p> <p><small>かつどう</small> 活動                  先頭                  <small>しょうぶ</small> 勝負                  <small>かんしん</small> 感心</p>	こたえ	
5	<p>つぎの文の中から、「ひく」がほかとちがう意味で使われているものをえらびましょう。</p> <p>電話をひく。                  オルガンをひく。 ギターをひく。                  ピアノをひく。</p>	こたえ	

日本語（国語）小3レベル ステップ2-2

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

【言葉のきまり】

1	<p>「おくもの」を表すことばをえらびましょう。</p> <p>兄がつくえに本をおく。</p> <p>兄が           つくえに           本を           おく</p>	こ た え	
---	--	-------------	--

2	<p>つぎの文の主語をえらびましょう。</p> <p>兄さんは、いつもとてもやさしい。</p> <p>やさしい           兄さんは           いつも           とても</p>	こ た え	
---	--	-------------	--

3	<p>つぎの文の中から、「いつ」を表して、文をくわしくしている修飾語を、ひとつえらびましょう。</p> <p>毎朝わたしは弟を起こす。</p> <p>起こす           弟を           わたしは           毎朝</p>	こ た え	
---	---	-------------	--

4	<p>つぎの文の _____ のことばは、どのことばを修飾して(くわしくして)いますか。ひとつえらびましょう。</p> <p><u>小さな</u>青い鳥が、たくさん木にとまる。</p> <p>青い           とまる           木に           鳥が</p>	こ た え	
---	--	-------------	--

5	<p>つぎの文に、「、」をふたつと「。」をひとつつけるとき、よいと思う文をえらびましょう。</p> <p>母は駅へ兄をむかえに行きました</p> <p>母は駅へ兄を、むかえに、行きました。</p> <p>母は、駅へ、兄をむかえに行きました。</p> <p>母は駅へ、兄を、むかえに行きました。</p>	こ た え	
---	--	-------------	--

日本語（国語）小3レベル ステップ2-2

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【ローマ字】

1	<p>つぎのローマ字の大文字と小文字をしめしたものの中から、大文字がまちがっているものを、一つえらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">K k                  V v                  G f                  S s</p>	こたえ	
---	--	-----	--

2	<p>つぎの言葉はローマ字の大文字で書かれている。これを小文字で書いたものを、一つえらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">D O T E</p> <p style="text-align: center;">g o t e                  d a t e d o t e                  b o t e</p>	こたえ	
---	--	-----	--

3	<p>つぎの言葉を正しくローマ字になおしたものをえらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">教室</p> <p style="text-align: center;">kyositu                  kyoositu kvousitu                  kyÔsitu</p>	こたえ	
---	--	-----	--

4	<p>つぎの言葉を正しくローマ字になおしたものをえらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">かんじ</p> <p style="text-align: center;">kan ' zi                  kannzi kamzi                  kanzi</p>	こたえ	
---	---	-----	--

5	<p>つぎの言葉を正しくローマ字になおしたものをえらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">ばった</p> <p style="text-align: center;">batuta                  baata bata                  batta</p>	こたえ	
---	---	-----	--

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【漢字の読み方と書き方】

1	下線のついた漢字の読み方をえらびなさい。 ながめのよい <u>風景</u> 。  こうけい                      ふうけい ふうかく                      ふうこう	こ た え	
---	--	-------------	--

2	下線のついた漢字の読み方をえらびなさい。 ふるしきで <u>包む</u> 。  やすむ              かこむ              たたむ              つつむ	こ た え	
---	---	-------------	--

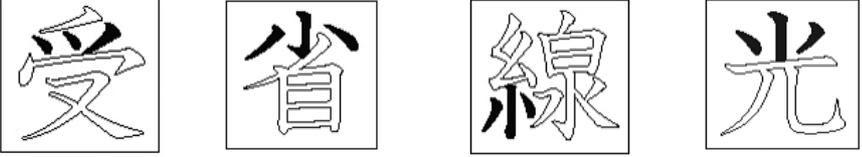
3	下線のついた漢字の読み方をえらびなさい。 <u>昨夜</u> の集まり。  にちや              こんや              さくや              しんや	こ た え	
---	---	-------------	--

4	下線のついたひらがなを漢字に正しくなおしたものをえらびなさい。 今日の午後に会 <u>ぎ</u> がある。  説              義              議              機	こ た え	
---	--	-------------	--

5	下線のついたひらがなを正しく漢字になおしたものをえらびなさい。 たいせつな役わりを <u>は</u> たす。  果              菓              波              終	こ た え	
---	---	-------------	--

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【漢字の筆順と画数】

1	黒くぬられた三つの画が、「左から右へ順 <small>じゆん</small> に書く」という筆順 <small>ひっじゆん</small> のきまりにあてはまるものをえらびなさい。	こたえ	
			

2	右の漢字の、矢じるしがさしている部分は、何画めに書くのが正しいのか。下からえらびなさい。	こたえ	
	九画め                      八画め 四画め                      六画め		

3	右の漢字の、矢じるしがさしている部分は、何画めに書くのが正しいのか。下からえらびなさい。	こたえ	
	七画め                      八画め 十一画め                      + 画め		

4	右の漢字の、矢じるしがさしている部分は、何画めに書くのが正しいのか。下からえらびなさい。	こたえ	
	七画め                      三画め 五画め                      六画め		

5	右の漢字の、矢じるしがさしている部分は、何画めに書くのが正しいのか。下からえらびなさい。	こたえ	
	七画め                      九画め 八画め                      六画め		

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【語く】

1	<p>下線のついた言葉の正しい意味を、えらびなさい。</p> <p>わたしとあなたとでは、考え方が<u>ことなる</u>。</p> <p>気になる                      すれちがう ちがう                          同じである</p>	こたえ	
2	<p>下線のついた言葉と、反対の意味を表す言葉をえらびなさい。</p> <p>山を<u>おりる</u>。</p> <p>登る                      通る                      乗る                      すべる</p>	こたえ	
3	<p>下線のついた言葉と同じ意味を表す言葉を、えらびなさい。</p> <p>となりの国と<u>いくさ</u>になる。</p> <p><small>せんそう</small> 戦争                      <small>しゅうせん</small> 終戦                      交流                      <small>ゆうこう</small> 友好</p>	こたえ	
4	<p>下線のついた言葉と似た意味を持つ言葉を、えらびなさい。</p> <p>名画を<u>公開</u>する。</p> <p>公用                      公平                      表記                      公表</p>	こたえ	
5	<p>次のじゅく語の中から、同じ漢字を重ねた成り立ちのものを、えらびなさい。</p> <p>点々                      苦楽                      <small>しゅうい</small> 周囲                      <small>ていか</small> 低下</p>	こたえ	

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【言葉のきまり】

1	<p>次の文の空らんに入れるのによいと思うこそあど言葉を、えらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">だれが（     ）しろと言ったのですか。</p> <p style="text-align: center;">そう            その            そこ            そんな</p>	こたえ	
---	--	-----	--

2	<p>次の文の中から、動詞（「<sup>どうし</sup>どうする」を表す語）を、えらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">いつも 母が 買う パンだ。</p> <p style="text-align: center;">パンだ            買う            いつも            母が</p>	こたえ	
---	--	-----	--

3	<p>次の文の中から、形容詞（<sup>けいようし</sup>性質や<sup>せいじつ</sup>様子を表す言葉）をえらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">ぼくは赤いノートを買う。</p> <p style="text-align: center;">ぼく            赤い            ノート            買う</p>	こたえ	
---	--	-----	--

4	<p>次の文の空らんに入れるとよいと思うものをえらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">風もないのにドア（     ）開く。</p> <p style="text-align: center;">が            から            へ            を</p>	こたえ	
---	---	-----	--

5	<p>次の文の中から、こそあど言葉をえらびなさい。</p> <p style="text-align: center;">君がはいているそのくつ、かわいいね。</p> <p style="text-align: center;">君            かわいい            その            くつ</p>	こたえ	
---	--	-----	--

日本語（国語）小5レベル ステップ2-2【仮名づかい】

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前 \_\_\_\_\_

1	かなづかいの正しい文を、選びなさい。  お母さんへは花をおくります。 お母さんへは花おおくります。 お母さんえは花をおくります。 お母さんへわ花をおくります。	こたえ	
---	--	-----	--

2	かなづかいがまちがっているものを選びなさい。  おとうさんとサッカーをする。 イルカはりこうな動物です。 おうかみはするどいきばを持っている。 ほうせき箱を開ける。	こたえ	
---	---	-----	--

3	かなづかいがまちがっているものを選びなさい。  少年は、おおかみが来たときさけんだ。 おおさまは青い花が好きでした。 駅前のおりに花屋がある。 ほおずきを手に持っている。	こたえ	
---	--	-----	--

4	かなづかいのまちがっているものを選びなさい。  ゆうせんの的に取りあつかう。 <small>だからもの</small> 宝物がうめられているとゆううわさがある。 電車で席をゆずるのはゆうきがいる。 ゆうえんちで一日遊ぶ。	こたえ	
---	---	-----	--

5	かなづかいのまちがっているものを選びなさい。  おばあさんは、おおきいつづらを選びました。 こおろぎは、羽をこすり合わせて鳴きます。 おやつにいちじくを食べました。 もう、どうこうゆっても、しかたがない。	こたえ	
---	---	-----	--

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【漢字の読み方】【漢字のしくみときまり】

1	<p>下線のついた漢字の読み方を選びなさい。</p> <p>姉は、おとなしい<u>性格</u>だ。</p> <p>ひんかく      せいしつ      じんかく      せいかく</p>	こたえ	
---	---	-----	--

2	<p>下線のついたひらがなを正しく漢字になおしたものを選びなさい。</p> <p><u>へや</u>に新しい本だなを置く。</p> <p>屋根          部分          部室 部屋</p>	こたえ	
---	--	-----	--

3	<p>次のじゅく語の中から、「色」の読み方がほかの三つとはちがうものを選びなさい。</p> <p>色調          無色          特色          血色</p>	こたえ	
---	---	-----	--

4	<p>下線のついた部分に共通する漢字を選びなさい。</p> <p>きみは世<u>けん</u>知らずだ。</p> <p>母の言いつけを、兄から<u>かん</u>接に聞いた。</p> <p>検              間              関              言</p>	こたえ	
---	---	-----	--

5	<p>次の文の（ ）に共通してあてはまる漢字を選びなさい。</p> <p>（      ）をうやまう。</p> <p>（      ）しく接する。</p> <p>題              楽              親              老</p>	こたえ	
---	---	-----	--

日本語（国語）小5レベル ステップ3-1

年 組 番 名前

【語句】

1	<p>次の空らんには同じ漢字が入る。三字じゅく語が完成するように合うものを、選びなさい。</p> <p>輸出（ ） 生産（ ）</p> <p>士 器 量 所</p>	こたえ	
2	<p>次の言葉の中から、「外来語」にあたるものを選びなさい。</p> <p>ふでばこ つくえ机</p> <p>ノート 教科書</p>	こたえ	
3	<p>「弱小」と反対の意味を表すじゅく語を、選びなさい。</p> <p>弱点 強化</p> <p>強大 強弱</p>	こたえ	
4	<p>下線のついた言葉と反対の意味を表すじゅく語を選びなさい。</p> <p>今日はそうじ<u>当番</u>だ。</p> <p>非番 門番</p> <p>番人 順番</p>	こた	
5	<p>空らんには、反対の意味を表す漢字が入る。合うものを、選びなさい。</p> <p>勝（ ）</p> <p>失 敗 転 戦</p>	こたえ	

日本語（国語）小5レベル ステップ3-1

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【言葉のきまり】

1	<p>次の文の主語と述語<small>じゆつご</small>を正しくぬき出したものを選びなさい。</p> <p>秋の 月は とても 美しい。</p> <p>月は・とても美しい      秋の月は・美しい                  月は・美しい              秋の月は・とても美しい</p>	こたえ	
2	<p>次の文の下線のついた言葉は、どの言葉<small>しゆうしよく</small>を修飾しているか。正しいものを選びなさい。</p> <p>緑の木々に朝の光がふりそそいだ。</p> <p>朝の              木々に              ふりそそいだ              光が</p>	こたえ	
3	<p>次の文の下線のついた言葉と「並立<small>へいりつ</small>の関係」にある言葉はどれか。正しいものを選びなさい。</p> <p>赤や<u>黄色</u>のきれいな花がさく。</p> <p>きれいな              赤や              花が              さく</p>	こたえ	
4	<p>次の文の中から、「補助語<small>ほじよ</small>」（前の言葉に意味をそえるはたらきをする言葉）を、選びなさい。</p> <p>そっと手紙を置いていく。</p> <p>手紙を              そっと              いく              置いて</p>	こたえ	
5	<p>次の文の中から、独立語<small>どくりつご</small>にあたるものを、選びなさい。</p> <p>おはよう、きょうはいつもより早いね。</p> <p>いつもより              きょうは              おはよう              早いね</p>	こたえ	

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【漢字の読み方と書き方】

1	次の下線のついた漢字の読み方を選びなさい。  <u>巻頭</u> をかざる言葉。  けんとう                    こんとう まきがしら                かんとう	こ た え	
---	---	-------------	--

2	次のじゅく語の読み方を選びなさい。  対策  たいがく    たいせん    たいさく    たいさん	こ た え	
---	---	-------------	--

3	次のじゅく語の読み方を選びなさい。  八百屋  よろずや    やえや    やおや    はちおや	こ た え	
---	--	-------------	--

4	下線のついたひらがなを漢字に正しくなおしたものを選びなさい。  大失敗をして、顔が <u>まっさお</u> になる。  真っ黒    真っ青    真っ赤    真っ白	こ た え	
---	--	-------------	--

5	次のじゅく語の中から、「判」の読み方が、ほかの三つと異なるものを選びなさい。  裁判    判断    判明    批判	こ た え	
---	--	-------------	--

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【漢字の筆順・画数・送りかな】

1	<p>右の漢字の、矢じるしがさしている部分は、何画めに書くのが正しいのか。下から選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">                 六画め                      四画め                  七画め                      二画め             </p>		こ た え	
---	--	--	-------------	--

2	<p>右の漢字の、矢じるしがさしている部分は、何画めに書くのが正しいのか。下から選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">                 十画め                      五画め                  十一画め                      九画め             </p>		こ た え	
---	---	---	-------------	--

3	<p>次の中から、画数が十四画の漢字を選びなさい。</p> <p style="text-align: center;"> <sup>くら</sup>蔵                      駅                      <sup>わり</sup>割                      推             </p>	こ た え	
---	---	-------------	--

4	<p>次の漢字と同じ画数の漢字を、一つ選びなさい。</p> <p style="text-align: center;"> <sup>よ</sup><sup>く</sup>欲             </p> <p style="text-align: center;"> <sup>わけ</sup>訳                      <sup>ぞめ</sup>染                      呼                      開             </p>	こ た え	
---	--	-------------	--

5	<p>下線のついたひらがなを正しく漢字と送りかなになおしたものを選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">                 魚がえさに<u>むら</u>がっている。             </p> <p style="text-align: center;">                 群って                      群らがって                  群て                      群がって             </p>	こ た え	
---	--	-------------	--



日本語（国語）小6レベル ステップ3-2

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【言葉のきまり】

1	<p>次の言葉の形をかえて名詞にしたものはどれか。 正しいものを選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">いのる</p> <p style="text-align: center;">いのった                      いのれ いのり                              いのろう</p>	こたえ	
---	--	-----	--

2	<p>次の言葉の中から、「動詞」を一つ選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">古い                                  ピアノ とても                                買う</p>	こたえ	
---	--	-----	--

3	<p>次の文で使われている形容動詞を言い切りの形になおした ものを選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">ぼくは、静かにドアを開けた。</p> <p style="text-align: center;">静か                                  開ける 開き                                    静かだ</p>	こたえ	
---	--	-----	--

4	<p>次の文の下線のついた連体詞は、どの言葉を修飾しているか。</p> <p style="text-align: center;"><u>この</u>白いバラは、わたしの庭に咲きました。</p> <p style="text-align: center;">庭に                      白い                      わたしの                      バラは</p>	こたえ	
---	---	-----	--

5	<p>次の文の下線のついた感動詞はどのような意味で使われているか。</p> <p style="text-align: center;"><u>もしもし</u>、さいふを落としましたよ。</p> <p style="text-align: center;">応答                      呼びかけ                      あいさつ                      感動</p>	こたえ	
---	---	-----	--

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【漢字の読み方と書き方】

1	次の（ ）にあてはまる漢字を選びなさい。  封（ ）  筒                      胴                      銅                      同	こたえ	
---	--	-----	--

2	「番組」という熟語は下の四つの読み方のうち、どれにあてはまるか。  重箱読み                      湯桶読み  音音読み                      訓訓読み	こたえ	
---	--	-----	--

3	次の中から「名残」の読み方として正しいものを選びなさい。  みょうざん              おごり              なのこり              なごり	こたえ	
---	---	-----	--

4	次の言葉の中から、漢語ではないものを選びなさい。  満場一致                      まきば  ぼく（僕）                      被害者	こたえ	
---	---	-----	--

5	次の（ ）に、あてはまる語を書き入れて、文を完成させなさい。  和語というのは、漢語や外来語に対して本来の（ ） を指す名称で、大和言葉とも呼ばれる。漢字で書いてあっても、（ ）で読む言葉は和語である。	こたえ	
---	--	-----	--



\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【漢字の筆順と画数】

1	<p>「左の部分から右の部分へ書いていく」という筆順の大原則に従って書く漢字に「緯」があるが、次の漢字の中から、同様にこの大原則に従って書くものを選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">承                      建                      遠                      街</p>	こたえ	
---	---	-----	--

2	<p>次の漢字の中から、中心から左右へ、という順序で書くものを選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">州                      火                      <small>つかさ</small>司                      承</p>	こたえ	
---	---	-----	--

3	<p>「外側を囲む形は先に書く」という筆順の原則に従う漢字に「月」があるが、同じようにこの原則に従って書く漢字を選びなさい。</p> <p style="text-align: center;"><small>まつりごと</small>政                      大                      十                      回</p>	こたえ	
---	--	-----	--

4	<p>次の漢字は、左右の払いが交差する部分をもつが、その交差する左払いは何画めに書くのが正しいか。下から選びなさい。</p> <p style="text-align: center;"><small>ひま</small> <b>暇</b></p> <p style="text-align: center;">十二画め                      十三画め 十一画め                      十四画め</p>	こたえ	
---	---	-----	--

5	<p>次の中から、「にょう」の部分の先に書く漢字を選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">近                      遂                      建                      魅</p>	こたえ	
---	---	-----	--

【慣用句・ことわざ・故事成語】

6	<p>次の慣用句とほぼ同じ意味をもつものを選びなさい。</p> <p>手に負えない</p> <p>手に余る 手に汗を握る</p> <p>手をつくす 手の裏を返す</p>	こたえ	
---	--	-----	--

7	<p>次の慣用句とほぼ同じ意味をもつものを、選びなさい。</p> <p>むしずが走る</p> <p>鼻持ちならない 胸を借りる</p> <p>へそを曲げる 二の足を踏む</p>	こたえ	
---	--	-----	--

8	<p>次のことわざの空らんにあてはまる正しい言葉を選びなさい。</p> <p>「月夜に（ ）」 これは、不必要でむだなことのたとえである。</p> <p>星            むら雲            ちょうちん            からす</p>	こたえ	
---	---	-----	--

9	<p>次のことわざとほぼ同じ意味の四字熟語を選びなさい。</p> <p>身から出たさび</p> <p>さん み いったい 三位一体 絶体絶命</p> <p>針小棒大 じごうじとく 自業自得</p>	こたえ	
---	--	-----	--

10	<p>次の故事成語の意味として正しいものを選びなさい。</p> <p>杞憂</p> <p>知ったかぶりをすること。 言葉を飾り、人にへつらうこと。 苦勞して成功すること。 いらぬ心配をすること。</p>	こたえ	
----	---	-----	--

日本語（国語）中1レベル ステップ4

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_

【文法の基本(文・文章・文節・単語)】

1	次の文を文節に分けたとき、文節の数はいくつになるか。 秋の紅葉の季節は、少しさびしい気持ちになる。 5                      8                      6                      7	こたえ	
---	--	-----	--

2	次の文を単語に分けたとき、単語の数はいくつになるか。 動物園には大勢の人が来ていた。 1                      10                      9                      8	こたえ	
---	--	-----	--

3	次の文の空らんにあてはまる最適なものを、選びなさい。 「山下さんと加藤さん、君たちは明日早く来なさい。」という文で、ひとまとまりになって独立語の働きをしている「山下さんと加藤さん」という連文節を、(            )という。 接続部                      独立部 <small>しゅうしよくぶ</small> 修飾部                      述部	こたえ	
---	--	-----	--

4	次の文の下線を付けた独立語の働きは何か。正しいものを選びなさい。 こんばんは、回覧版です。 呼びかけ                      応答                      あいさつ                      かけ声	こたえ	
---	---	-----	--

5	次の文の空らんに最適な言葉を、選びなさい。 <small>かのじよ</small> 彼女は泳げない。(            ) 水泳の時間が楽しみだった。 しかし                      すると                      または                      だから	こたえ	
---	---	-----	--

【文法の基本(指示語)】

6	<p>下線を付けた指示する語句は、どのような種類や事柄を指し示しているか。正しく指摘しているものを選びなさい。</p> <p style="text-align: center;"><u>そんな態度</u>では人を怒らせるだけだ。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="display: inline-block; width: 45%;">近称・指定 中称・状態</span> <span style="display: inline-block; width: 45%;">遠称・方向 不定称・事物</span> </p>	こたえ	
---	---	-----	--

7	<p>下線を付けた指示する語句が指しているものを選びなさい。</p> <p>ぼくの足もとに白い靴がある。しかし、<u>これは</u>ぼくのものではない。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="display: inline-block; width: 20%;">白いこと</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">ぼく</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">白い靴</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">足もと</span> </p>	こたえ	
---	---	-----	--

8	<p>下線を付けた指示する語句が指しているものを選びなさい。</p> <p>先ほど私を訪ねてきた人は、<u>どちら</u>へ行きましたか。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="display: inline-block; width: 45%;">不特定の方向 私を訪ねてきた人</span> <span style="display: inline-block; width: 45%;">聞き手のいる方向 話し手・聞き手両者から離れた方向</span> </p>	こたえ	
---	--	-----	--

9	<p>下線を付けた指示する語句が指しているものを選びなさい。</p> <p>田舎、<u>そこ</u>は単に両親が住んでいる場所ではなく、思い出が息づいている場所でもある。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="display: inline-block; width: 45%;">田舎 不特定の場所</span> <span style="display: inline-block; width: 45%;">なし 両親が住んでいる場所</span> </p>	こたえ	
---	--	-----	--

10	<p>次の文の下線を付けた(ア)、(イ)の指示する語句が指している内容として正しい組み合わせを、選びなさい。</p> <p>「あいつ、<u>あんな</u>(ア) 高い所へ登ってしまっは、ぼくみたいに <u>こんな</u>(イ)に簡単には下りられないよ。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="display: inline-block; width: 20%;">(ア)・第三者の様子</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">(イ)・話し手の様子</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">(ア)・第三者の様子</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">(イ)・第三者の様子</span> </p> <p style="text-align: center;"> <span style="display: inline-block; width: 20%;">(ア)・聞き手の様子</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">(イ)・話し手の様子</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">(ア)・聞き手の様子</span> <span style="display: inline-block; width: 20%;">(イ)・第三者の様子</span> </p>	こたえ	
----	--	-----	--

日本語（国語）中1レベル ステップ4

年 組 番 名前

【文法の基本(接続語)】

1	<p>空らんに最適な接続する語句を、選びなさい。</p> <p>湖の氷が厚くなった。( ) スケートができるだろう。</p> <p>なぜなら          ところで          だから          しかし</p>	こたえ	
---	--	-----	--

2	<p>空らんにあてはまる最適な接続する語句を選びなさい。</p> <p>私は頭が痛かった。( ) 薬は飲まなかった。</p> <p>よって          あるいは          そして          しかし</p>	こたえ	
---	---	-----	--

3	<p>空らんにあてはまる最適な接続する語句を、選びなさい。</p> <p>みんな元気なようだね。( ) 昨日の続きを始めましょう。</p> <p>そして          すなわち          けれども          では</p>	こたえ	
---	--	-----	--

4	<p>次の文章の空らんア～ウのうち説明の接続する語句が入るのはどこか。それを正しく指摘しているものを選びなさい。</p> <p>いつもお世話さまです。(ア)明日のことですが、わたしか(イ)姉がおうかがいすることになりました。(ウ)母が風邪をひいて寝こんでしまったからです。</p> <p>ウ          ア          イとウ          イ</p>	こたえ	
---	--	-----	--

5	<p>ア～ウのうち、対比・<sup>せんたく</sup>選択の接続する語句が入るのはどこか。</p> <p>ぼくは数学(ア)理科の成績がよかった。この二教科のテストはいつも、満点か(イ)90点台だった。(ウ)両親は、将来エンジニアになればいいとぼくに言っていた。</p> <p>イ          イとウ          アとイ          ア</p>	こたえ	
---	---	-----	--

【古典】

6	<p>下線部を現代仮名づかいに直したものとして正しいものを選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">答えていはく</p> <p style="text-align: center;">いうのに      いいました      いわく      いうに</p>	こたえ	
---	--	-----	--

7	<p>現代仮名づかいに直したものとして正しいものを選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">まもり合へり。</p> <p style="text-align: center;">合へる      合った      合える      合えり</p>	こたえ	
---	--	-----	--

8	<p>下線部の意味として正しいものを、選びなさい。</p> <p>野山にまじりて竹を取りつつ、<u>よろづのことに使ひけり</u>。</p> <p style="text-align: center;">すべてのことに使っている      世の中のために使っていた とりわけよるずが使っていた      いろいろなことに使っていた</p>	こたえ	
---	---	-----	--

9	<p>下線部の意味として正しいものを選びなさい。</p> <p>これを聞くに、<u>うれしきことかぎりなし</u>。</p> <p style="text-align: center;">うれしいことなどまっとなかった      うれしくてたまらなかった うれしいことが次々に起こった      うれしいことには限度があった</p>	こたえ	
---	--	-----	--

10	<p>次の漢文の書き下し文を読んで、後の問いに答えなさい。</p> <p>楚人に盾と矛とをひさぐ者あり。これを褒めていはく、我が盾の堅きこと、よくとほすものなきなり。と。また、その矛を褒めていはく、我が矛の利なること、物においてとほさざることなきなり。と。ある人いはく、子の矛をもって、子の盾をとほさば、いかん。と。その人答ふることあたはざりき。(「矛盾」『韓非子』)</p> <p>問 「      」をつけるべき会話の部分がいくつありますか。</p> <p style="text-align: center;">二つ      五つ      四つ      三つ</p>	こたえ	
----	---	-----	--